



「オープンデータ活用コンテスト」が

VLED最優秀賞を受賞編

東京メトロ創立10周年記念行事の一環として実施しました「オープンデータ活用コンテスト」が、平成27年3月24日(火)にオープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構(VLED)による平成26年度勝手表彰の最優秀賞を受賞しました。今回はその受賞式の様子をご紹介します。

VLEDについて

《VLEDとは》

公益事業者等が保有するデータのオープンデータ公開を推進し、様々なデータと組み合わせることでビッグデータとして利活用することによって、地方を創生するとともに、経済の活性化を行うための組織として2012年に設立された「オープンデータ流通推進コンソーシアム」の成果を引き継ぎ、2014年に設立された一般社団法人です。

《受賞作品の決定について》

オープンデータの普及促進などに貢献した事例を対象に、VLED利活用・普及委員会による選考を経て最優秀賞、優秀賞を決定しています。今年度は最優秀賞、優秀賞各1作品が選出されたほか、スポンサー賞として7作品が選出されました。



東京メトロ「オープンデータ活用コンテスト」の受賞について

平成26年度の勝手表彰において、東京メトロの「オープンデータ活用コンテスト」は最優秀賞と、スポンサー賞として日本マイクロソフト賞を受賞しました。

受賞した理由として、

- ・首都圏の人々や技術者にオープンデータというものを認識させた功績が最も大きい
- ・公共交通機関がこのような取組に一步踏み出した意義が大きい
- ・かなりの応募者があり、交通データの潜在的な需要と可能性が明らかになった
- ・オープンデータの社会的な意義を実証された

などの点が評価されました。



長谷部総務部長(左) と中村伊知哉審査委員長(右)



主催者と受賞者全員で集合写真

今後の取組について

これだけご評価いただいたこと、また、訪日外国人のお客様をはじめとするすべてのお客様に東京メトロをわかりやすく快適にご利用いただけるようなアプリ開発等に利活用いただけるよう、現在提供しているデータを4月以降も継続して提供します。今後は東京メトロの提供するデータをより有効に利活用いただける取組を進めていきますので、ご期待ください。



これまで。そして、これからも。
もっと うれしい 東京に
<http://tokyometro10th.jp/>

東京を走らせる力

